

平成30年度 亀山市歴史博物館 講座のお知らせ

古文書講座

講座名	日程	対象	形式		内容	持ち物
古文書解読基礎講座	第2日曜日	どなたでも	講座形式	『くずし字解読辞典』の引き方から始め、実際の古文書を一字ずつ引きながら、古文書を読み解いていきます。	歴史博物館に所蔵する古文書の中で、亀山市に関係する、江戸時代の古文書を、一字ずつ、くずし字解読辞典を引きながら読み解いていきます。	くずし字 解読辞典 (東京堂出版)
読む・聞く ・読み解く、 加藤秀繁日記	第4日曜日	どなたでも	輪読・ 講座形式	加藤秀繁日記の原物写真がテキストです。それを活字にしたプリントもお配りします。そして、原文から直接読む方も、それを聴いて当時のようすを知る方も、最後は読み解くためのフリートークで、武士加藤秀繁の仕事と暮らしを知る古文書講座です。	加藤秀繁は亀山城主石川家の家臣。亀山での勤めから江戸詰めになった天保十二年(1841)。江戸屋敷での秀繁の勤めぶりはどうなようすでしょうか。殿様石川家の暮らしは…。大御所徳川家斉逝去の喪があげた天保十二年五月の記事から読み解きます。途中からでも充分楽しめます。	
村町の古文書を読む	第4土曜日	古文書の基礎を学ばれた方	輪読形式	順番に輪読しながら、そこにどんな事が書かれているのか、ああだこうだとみんなで意見を出し合い、楽しく内容を読み解きます。	市域に残る近世・近代の村や町に関する古文書を中心に読んでいきます。30年度の最初のテキストは、村々に回覧された助郷にまつわる「廻状」です。	

古代史講座

講座名	日程	対象	形式		内容	持ち物
一緒に読もう 古代史料教室	第2土曜日	どなたでも	講座形式	テキストとなる史料を読み、解説を行います。漢文史料に出てくる漢字の語句や意味を漢和辞典でひきながら、ゆっくりと読み進めます。	30年度は、『日本書紀』に書かれたヤマトタケルの記事を取りあげます。	漢和辞典

共通事項

開講日時 5月～12月、午後1時30分～午後3時

定員 古文書解読基礎講座：30名、その他：36名

申込方法 平成30年4月1日(日)～4月30日(月)まで、博物館へお電話(0595-83-3000)でお申し込みください。